

# 平成21年度第28回全国高校生建築製図コンクール結果報告

製図コンクール運営委員会委員長 塩澤 泰

第28回全国高校生建築製図コンクールには、東日本建築教育研究会の加盟校及び加盟校以外の先生方から、校務ご多忙にもかかわらず絶大なるご協力を頂きました事を厚くお礼申し上げます。

今年度からホームページにて、結果の報告をいたします。

[ ] 応募状況

(1) 応募校数

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H20	H21	H20	H21	H20	H21	H20	H21	H20	H21	H20	H21	H20	H21
70校	77校	62校	72校	8校	5校	53校	62校	8校	5校	9校	10校	0校	0校

(2) 応募作品数

課題名	加盟校別	回数	学校数・作品数		全日制・作品数		定時制・作品数	
課題1	加盟校	H20	50校	133点	45校	123点	5校	10点
		H21	55校	137点	52校	130点	3校	7点
	加盟校以外	H20	7校	20点	7校	20点	0校	0点
		H21	5校	13点	5校	13点	0校	0点
課題2	加盟校	H20	37校	75点	34校	72点	3校	3点
		H21	27校	59点	26校	58点	1校	1点
	加盟校以外	H20	5校	12点	5校	12点	0校	0点
		H21	5校	13点	5校	13点	0校	0点
課題3	加盟校	H20	41校	86点	36校	77点	5校	9点
		H21	43校	73点	30校	67点	4校	6点
	加盟校以外	H20	4校	10点	4校	10点	0校	0点
		H21	4校	9点	4校	9点	0校	0点
課題4	加盟校	H20	13校	30点	13校	30点	0校	0点
		H21	12校	31点	12校	31点	0校	0点
	加盟校以外	H20	1校	2点	1校	2点	0校	0点
		H21	1校	2点	1校	2点	0校	0点
課題5	加盟校	H20	10校	17点	10校	17点	0校	0点
		H21	9校	17点	9校	17点	0校	0点
	加盟校以外	H20	1校	2点	1校	2点	0校	0点
		H21	2校	6点	2校	6点	0校	0点
応募校計		H20	405点 (加盟校 341点・加盟校以外 64点)					
		H21	360点 (加盟校 317点・加盟校以外 43点)					

## (3) 校内作品審査数の総計

		課題 1	課題 2	課題 3	課題 4	課題 5
加盟校	H20	1177点	644点	523点	130点	39点
	H21	1219点	510点	474点	111点	37点
加盟校 以外	H20	216点	52点	15点	5点	5点
	H21	23点	50点	74点	3点	9点
応募校計	H20	1393点	696点	538点	135点	44点
	H21	1242点	560点	548点	114点	46点

## [ ] 入賞者一覧

	賞	学校名	学科名	学年	生徒氏名
課題 1 : 軒先マワリ詳細図					
1	金賞	静岡県立科学技術高等学校	建築デザイン	1	村越勇人
2	銀賞	栃木県立今市工業高等学校	建設工学	1	青木寿公
3	銀賞	栃木県立今市工業高等学校	建設工学	2	山越伊緒里
4	銅賞	静岡県立科学技術高等学校	建築デザイン	1	牧田光
5	銅賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築土木	1	富田栞奈
6	銅賞	愛知県立一宮工業高等学校	建築・土木	1	白木佑弥
7	入賞	群馬県立高崎工業高等学校	建築	1	三澤飛鳥
8	入賞	宮城県古川工業高等学校	建築	1	武田亜梨沙
9	入賞	宮城県古川工業高等学校	建築	1	木島麗実
10	入賞	千葉県立市川工業高等学校	建築	1	山田梨左
11	入賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築	1	齋藤恵多
12	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	1	清水大祐
13	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築	1	長谷川楓
14	入賞	群馬県立高崎工業高等学校	建築	1	喜多利貴
15	入賞	名古屋市立工芸高等学校	建築システム	1	武藤雅哉
16	入賞	新潟県立新発田南高等学校	建設工学	2	萩原美咲
17	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設	1	西元幸来
18	入賞	広島県立宮島工業高等学校	建築	1	浮地悠輝
19	入賞	宮城県石巻工業高等学校	建築	1	武山加奈
20	入賞	岐阜県立可児工業高等学校	建設工学	1	大嶋彩之
21	入賞	静岡県立沼津工業高等学校	建築	1	山本義則
課題 2 : 木造平家建専用住宅					
1	金賞	栃木県立今市工業高等学校	建設工学	2	星野未帆
2	銀賞	関市立関商工高等学校	建築	2	日置翔悟
3	銀賞	関市立関商工高等学校	建築	2	長尾竜史
4	銅賞	福島県立福島工業高等学校	建築	2	大内晃
5	銅賞	松山聖陵高等学校	建築	2	嶋之内晃
6	銅賞	関市立関商工高等学校	建築	2	酒井駿一

7	入賞	東京都立総合工科高等学校	建築都市工学	2	丸山貴大
8	入賞	長野県飯田長姫高等学校	建築	2	木下優奈
9	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築	2	石部健多
10	入賞	松山聖陵高等学校	建築	2	寺家俊輔
11	入賞	千葉県立市川工業高等学校	建築	1	山田梨左
12	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築	2	石田彩香
13	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	2	松澤志門
14	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	2	山口千明
15	入賞	愛知県立半田工業高等学校	建築	2	藤井千保子
16	入賞	東京都立総合工科高等学校	建築都市工学	2	宮内智也
17	入賞	長野県飯田長姫高等学校	建築	2	石垣翔伍
18	入賞	福島県立福島工業高等学校	建築	2	後藤千苗
19	入賞	埼玉県立大宮工業高等学校	工業技術	3	八木橋健次

課題3：木造2階建専用住宅

1	金賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築	3	藤江眞美
2	銀賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	3	岩下勇人
3	銀賞	関市立関商工高等学校	建築	3	古田修平
4	銅賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築	3	山田陽子
5	銅賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設	3	長岡晶
6	銅賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築	3	星野剛徳
7	入賞	栃木県立今市工業高等学校	建設工学	3	福田美由紀
8	入賞	千葉県立市川工業高等学校	建築	3	高田粽子
9	入賞	栃木県立那須清峰高等学校	建設工学	3	横田貴大
10	入賞	宮城県古川工業高等学校	建築	2	山田調
11	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築	3	鈴木翔吾
12	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築	3	金田成晃
13	入賞	福島県立福島工業高等学校	建築	3	佐藤夏貴
14	入賞	栃木県立那須清峰高等学校	建設工学	3	渡邊美佳
15	入賞	関市立関商工高等学校	建築	3	中村宗彰
16	入賞	関市立関商工高等学校	建築	3	山口明大

課題4：木造平家建専用住宅CAD製図

1	金賞	私立関東第一高等学校	建築ビジュアル	2	篠原和也
2	銀賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	2	高橋大晴
3	銀賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築	3	藤江眞美
4	銅賞	栃木県立今市工業高等学校	建設工学	3	福田美由紀
5	銅賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築	3	田中涼
6	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	2	小澤孝良
7	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築	3	藤谷成樹
8	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築	3	高橋仁美

9	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築	3	長谷川雄太
10	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	2	宮崎梓
課題5：木造2階建専用住宅のプレゼンテーション作品					
1	金賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	3	岩下勇人
2	銀賞	栃木県立今市工業高等学校	建設工学	3	福田美由紀
3	銅賞	千葉県立市川工業高等学校	建築	3	飯名悠生
4	銅賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	3	松枝真希
5	入賞	松山聖陵高等学校	建築	3	松本龍
6	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築	3	小山裕貴
7	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築	3	山田まい
8	入賞	松山聖陵高等学校	建築	3	森良太
9	入賞	松山聖陵高等学校	建築	3	丸井賢一

生徒氏名は、コンピュータ変換出来ない漢字もあります。ご了承ください。

## [ ] 審査

### 1. 賞の選出

- (1) 最高作品を金賞とし、順次銀賞銅賞入賞とする。
- (2) 定時制課程から入賞以上を選出する。

### 2. 課題別審査の観点

- (1) 課題1「軒先マワリ詳細図」
  - 1) 引き出し線の位置は考慮しない。
- (2) 課題2「木造平家建専用住宅」
  - 1) 機能を充たす屋根の形状、平面図に見合う立面の形状に留意する。
  - 2) 製図規約を重視する。
- (3) 課題3「木造2階建専用住宅」
  - 1) 製図規約より計画性を考慮する。
- (4) 課題4「木造平家建専用住宅」(CAD製図)
  - 1) 機能を充たす屋根の形状、平面図に見合う立面の形状に留意する。
  - 2) 製図規約を重視する。
  - 3) CADデータをコピーしたものは大幅減点とする。
- (5) 課題5「木造2階建専用住宅」のプレゼンテーション作品
  - 1) 製図規約は考慮しない。
  - 2) プレゼンテーション・表現を重視する。

### 3. 審査方法

- (1) 一次審査
  - 1) 審査は委員全員でおこなう。
  - 2) 原図を使用し、各課題参加数の1/5程度(最大20点程度)を目安に絞り、入賞作品の対象とする。
  - 4) 絞る基準は、作品を比較して相対的(うまい・下手・きれい・これでは入賞に該当しない等)なものとする。

( 2 ) 二次審査

- 1) 審査は委員全員でおこなう。
- 2) 複写図面を使用し, チェックを書き込む。
- 3) 表題欄をカットする。
- 4) 入賞作品と入賞作品外の再度の確認をおこなう。
- 5) 最終決定を投票で行なう。

[ ] 審査講評

( 1 ) 今年度の減点項目

<p>課題1 軒先マワリ詳細図</p> <p>松丸太に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・部材断面形状の間違い(寸法が不正確)</li><li>・太鼓落しを表現する線が雑である(曲線はフリーハンドより定規使用の方が良い)</li></ul> <p>文字に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・抜けている</li><li>・大きすぎる, 小さすぎる,バラバラである。</li></ul> <p>野縁に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・位置が軒桁中心から取られていない。</li></ul> <p>天井に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・製図例2-6に基づいていない。</li></ul> <p>線の使い方に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・下書き線が濃すぎる。</li><li>・線が太すぎる。</li></ul>
<p>課題2 木造平家建専用住宅</p> <p>配置図兼平面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・庭の計画が未熟。</li><li>・道路境界線, 隣地境界線と建物の距離が抜けている。</li><li>・隣地境界線を実線で書く等, 線の使い方を間違えている。</li><li>・床の仕上げを表現している。</li></ul> <p>立面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平面と屋根の食い違い。</li><li>・平面形状にたいしてスケール感が無い。</li></ul> <p>断面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平面図切断線の位置との食い違い。</li></ul> <p>屋根伏図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・屋根勾配が未記入。</li></ul>
<p>課題3 木造2階建専用住宅</p> <p>設計主旨に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主旨と計画の食い違い。</li><li>・人数と, プランの面積があまりにも違う。</li><li>・車椅子で使うには無理な計画。</li></ul> <p>配置兼平面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・いちじるしく小さすぎる子供部屋。</li><li>・家具がない。</li><li>・高低差を配慮していない。</li></ul> <p>柱に関して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・抜けている。</li></ul> <p>階段に関して</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・手すりがない。</li> <li>・段数が多すぎる，少なすぎる（段数の根拠も見つからない）。</li> </ul>
<p>駐車スペースに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車と駐車スペースの表記方法の違い。</li> <li>・道路からの動線が玄関までの人及び車椅子の動線と一緒に危険である。</li> </ul>
<p>立面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図との食い違い。</li> <li>・異常に高い。</li> <li>・凝っているが食い違う。</li> </ul>
<p>断面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形状が不適切（異常に高すぎる，低すぎる）。</li> <li>・高さ記入がない。</li> </ul>
<p>課題4 木造平家建専用住宅 CAD製図</p>
<p>表現に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手書き表現でない（CAD特有の表現のまま）。</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題2と同様。</li> </ul>
<p>課題5 木造2階建専用住宅のプレゼンテーション CAD作品</p>
<p>プレゼンテーション力に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パース，模型，説明図，着色等の優劣。</li> </ul> <p>計画力に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナリティ。</li> <li>・図面の整合性。</li> </ul>

## （2）総評

<p>課題1 軒先マワリ詳細図</p> <p>金賞図面は，教科書の図面を正確にかつ丁寧に模写した図面です。各部品の形状の作図が正確で，線種の表現や文字数字のレタリングなど見事なできばえです。そのほかの図面についてもそれぞれ優秀な図面がたくさんありますが，部材の基本寸法の正確さや文字のレタリングや数字の丁寧さが多少不足している図面が目立ちます。</p>
<p>課題2 木造平家建専用住宅</p> <p>金賞図面は，平面図の模写，造園計画，立面と屋根の計画等，完成度の高い作品です。そのほかの図面についてもそれぞれ優秀な図面があります。造園計画において，目を引くような作品が少ないです。屋根の計画の未熟である，平面図の室内への描き込み，敷地面積の間違い，要求図面通り描かずに失格となる図面も目に付きます。</p>
<p>課題3 木造2階建専用住宅</p> <p>金賞図面は，製図の表現力，プラン力，構造・法規の整合性等，完成度の高い作品です。銅賞以上のほかの作品についても，均衡しております。作品のポイントをしっかりと把握し，個性的な創意工夫をし，そのための表現を工夫し，作品の特徴的な部分を表現すれば，完成度が高まります。</p> <p>一方，基礎的な構造に無理があるもの，特に通し柱の過多や記入漏れが目につきます。</p>
<p>課題4 課題2 木造平家建専用住宅 CAD製図</p> <p>金賞図面は，駐車スペースから玄関・廊下まで曲面屋根を連続させ，光を取り込んだプランで，立面・断面図で見事に空間の豊かさを表現した作品です。造園計画もシンプルで，添景表現も素晴らしく，高く評価します。そのほかの図面についてもそれぞれ優秀な図面がありますが，全体的な印象は，平面図の模</p>

写において、基本製図力は高いが、各自の設計となる立面・断面図の基本製図力の未熟さが気になります。

課題5 木造2階建専用住宅のプレゼンテーション CAD作品

金賞図面は、オリジナリティ・プレゼンテーション力に優れている作品です。そのほかの図面については、表現力不足による基本的製図力の未熟さが目立ちます。次年度は建築物の全体像がわかるような、プランニング・レイアウト・作図表現等、もっと自由な遊び心のある作品を期待します。

[ ] 平成22年度に向けて

1) 課題1 軒先マワリ詳細図

平成21年度 軒高と天井高さの差を指定する。

平成22年度 松丸太の表現を、定規を使用すること。

2) 課題2 木造平家建専用住宅

平成21年度 屋根伏図を追加。

平成22年度 断面形状(ロフトなど)を、平面図に表記する。

3) 課題3 木造2階建専用住宅

平成21年度 屋根伏図を追加。

平成22年度 階段に手すりを設置する。

4) 課題4 木造平家建専用住宅 CAD製図

平成21年度 屋根伏図を追加。

平成22年度 断面形状(ロフトなど)を、平面図に表記する。

5) 課題5 木造2階建専用住宅のプレゼンテーション CAD作品

平成21年度 課題3をCADで表現する。

平成22年度 縮尺・延面積を自由にする。

今年度も審査講評を参考にして頂き、ご応募くださるようお願い申し上げます。

平成22年4月12日  
製図コンクール運営委員長  
塩澤 泰